

北海道経済産業局は16日発表した3月の管内経済概況で、景気判断を「緩やかに持ち直している」とし、昨年9月以来、6カ月ぶりに上方修正した。個人消費が好調なことに加え、弱含みだった住宅建設に持ち直しの兆

住宅建設は新設住宅着工が前年同月比17%増となり、前月までの「弱含み」から「持ち直しの兆し」がみられる」と5カ月ぶりに上方修正。企業からは「住宅ローン金利の低下から消費マインドは良くなっている」との声が寄せられている。

0社を対象に行った調査の結果をまとめた。62.2%の311社が回答した。下期の売り上げDIはマイナス2.6で、前期から3.5ポイント上昇。建設業は23.6ポイント増加の9.4と大きく伸びたが、製造業は低下した。

地球温暖化対策計画案を了承
政府が温室ガス26%削減達成へ
政府は15日、首相官邸で地球温暖化対策推進本

隣接ビル含め再開発

札幌大同生命建替で

大同生命保険(本社・大阪)が、札幌市中央区北3条西3丁目にあるコンタクトオフビルと敷地を取得したことが分かった。建て替えを計画している札幌大同生命ビルが隣接しており、再開発を一体的に進める考え。完成は2019年秋ごろを目指している。

建物と300²m敷地取得

コンタクトオフビルは、札幌大同生命ビルと同じ区画内で、札幌駅前



隣接するビルを新たに取得して一体的に建て替える

施設が入る複合ビルを建てる計画だ。

取得理由については明らかになっていないが、関係者によると「一体的に建て替えることで、連

携する地下歩行空間の出入り口の幅員が、今より

中山

ニセヨ
デベロ

【小樽】不動産開発などを手掛けるニセヨアルパインデベロッパメント(倶知安町山田191の54、マーティン・シヨナサン社長)は、倶知安町山田地区に延べ約1万4000平方メートル規模の

畠山建設が一括施工

日本グランデ 発寒の分譲MS

日本グランデ(札幌市中央区大通西5丁目1の1、平野雅博社長)は、分譲マンションの仮称グランファール宮の沢サ・パークフロント新築を主

体、設備一括して畠山建設に依頼し、近く着工する見通しだ。同マンションは2棟で構成する。いずれもRC造で、南棟が10階建て、延べ4421平方メートル、西棟が9階建て、延べ21

33平方メートルの規模で構想。南棟は2LDKと3LDK、4LDKの間取りで計45戸、西棟は1LDKと3LDKの間取りで計24戸を設ける。共用施設としてシタタ

1&通信カラオケルーム、フィットネスルームを検討する。駐車場は72台分を用意する。建設地は札幌市西区発寒6条12丁目701の6。イオンモール札幌発寒などの商業施設をはじめ、地下鉄宮の沢駅やJR発寒駅が近い好立地にある。設計は自社。2017年3月ごろの完成を予定している。